

LB ファイルロック 2

Version 2.0.9

使用方法について

『LB ファイルロック 2』のプログラムは、著作権法で保護された著作物であり、その全部あるいは一部を株式会社エスコンピュータの事前の明示的な許可なく複製したり、転送したり、格納したり、他のコンピュータ用に変換したり、あるいは他の言語に翻訳したりすると、著作権の侵害になります。

『LB ファイルロック 2』は、株式会社ライフポートの商標です。

Microsoft、Windows は Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

その他、記載されている会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

LB ファイルロック 2 の概要

『LB ファイルロック2』はインストールが不要で、しかも管理者権限等も一切必要がない、ファイル、フォルダーの暗号化ツールです。PC上での作業はもちろん、外部メディアに入れて持ち運ぶことができます。暗号化、復号化はドラッグ&ドロップの簡単な操作で実行でき、データの機密性を確保します。

注意事項

『LB ファイルロック 2』で使用できるファイル名またはパスの長さは、各 Windows の仕様に依存します。稼動環境により異なりますが、ファイル名、パス長(フルパス)で指定できる上限は 256 バイトまでとなります。

もし、パス長の制限により正常に処理が行なえない場合は、ファイル名や暗号先/復号先を変更してから再度実行してください。

『LB ファイルロック 2』の使用方法について

アプリケーションの準備

『LB ファイルロック 2』はインストール不要のソフトウェアです。

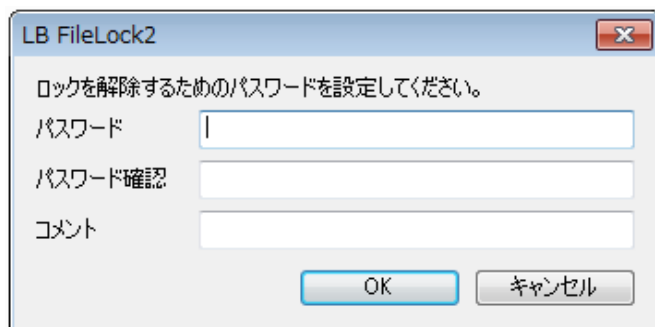
このバージョンの『LB ファイルロック 2』は『ポケットビット』上からのみ使用することができます。
他のメディアにコピーや移動した場合、使用することはできません。

ファイル／フォルダーの暗号化

1. 暗号化したいファイル／フォルダーを、『ポケットビット』内の『LB ファイルロック 2』のアプリケーションアイコンにドラッグ & ドロップします。



2. パスワードの入力画面が表示されるのでパスワードを入力して「OK」をクリックします。



暗号化されたファイル／フォルダーはファイル拡張子「.lock」形式のファイルとして「LB ファイルロック 2_v208.exe」が存在するフォルダーに出力されます（初期設定）。

暗号化および復号化時のファイルの出力先を変更したい場合は、実行する前に、予めアプリケーションアイコンをダブルクリックして設定画面を起動してください。設定変更については次頁「LB ファイルロック 2 の設定変更について」をご参照ください。

ファイルの出力先ドライブが書き込み禁止の場合「ファイルアクセス時にエラーが発生しました。」と表示されます。この場合は書き込み可能なドライブを指定してください。

暗号化ファイルの作成後も元のファイル／フォルダーはそのまま元のパスに残ります。元のファイル／フォルダーが不要な場合は、削除してください。

例：

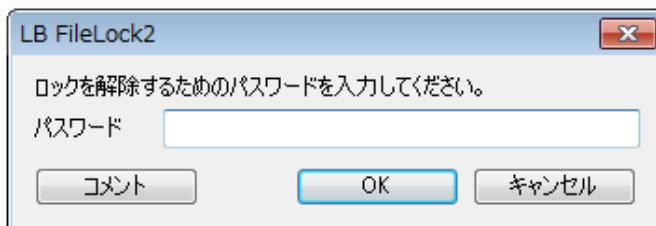
元のファイル／フォルダー名	暗号化したファイル名
test.txt	test.txt.lock
test.exe	test.exe.lock
¥test（フォルダー）	test.lock

ファイル／フォルダーの復号化

1. 『LB ファイルロック 2』で暗号化したファイル*.lock を『LB ファイルロック 2』のアプリケーションアイコンにドラッグ & ドロップします。



2. パスワードの入力画面が表示されるのでパスワードを入力して「OK」をクリックします。



復号化したファイル／フォルダーはデスクトップに出力されます（初期設定）。

復号化の後も暗号化ファイル(.lock)は元のパスに残ります。暗号化ファイルが不要な場合は削除してください。

LB ファイルロック 2 の設定変更について

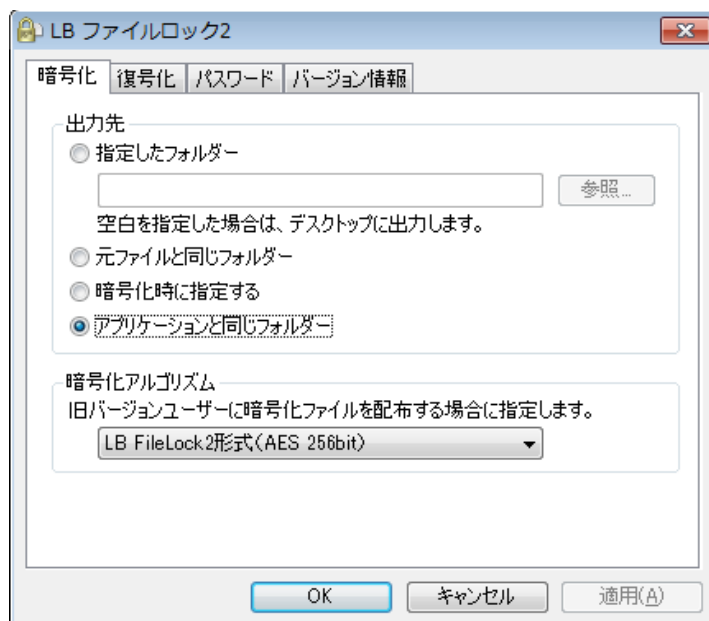
暗号化、復号化の設定はアプリケーションを起動して変更することができます。アプリケーションは『ポケットビット』から「LB ファイルロック 2_v208.exe」のアイコンをダブルクリックして起動します。

※設定の変更をすると、変更内容が「LB FileLock2.dat」として、「LB ファイルロック 2_v208.exe」と同じパスへ保存されます。

このファイルを削除すると設定内容はクリアされ初期設定に戻ります。

<暗号化>

暗号化したファイルの出力先の設定をします。



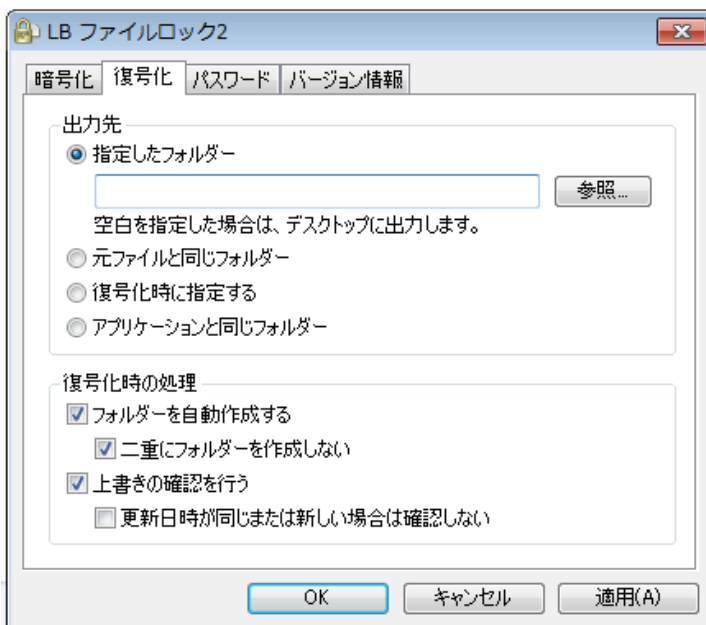
画面の説明

出力先	
指定したフォルダー	「参照」をクリックして暗号化したファイルの出力先を指定します。
元ファイルと同じフォルダー	暗号化する前のファイル／フォルダーが存在するフォルダーに暗号化したファイルを出力します。
暗号化時に指定する	ファイルをアプリケーションアイコンにドラッグ & ドロップした時に出力先を指定するウィンドウが表示されます。
アプリケーションと同じフォルダー (初期設定)	「LB ファイルロック2_v208.exe」が存在するフォルダーに暗号化したファイルを出力します。

暗号化アルゴリズム	
LB FileLock2形式 (AES 256bit)	初期設定です (通常はこちらを使用します)。
キチッと秘密ファイルロック形式 (AES 128bit)	旧バージョン (キチッと秘密ファイルロック) のユーザーに暗号化ファイルを配布する場合に指定します。

<復号化>

復号化時の設定をします。復号化するファイル／フォルダーの出力先、復号時の処理を設定します。



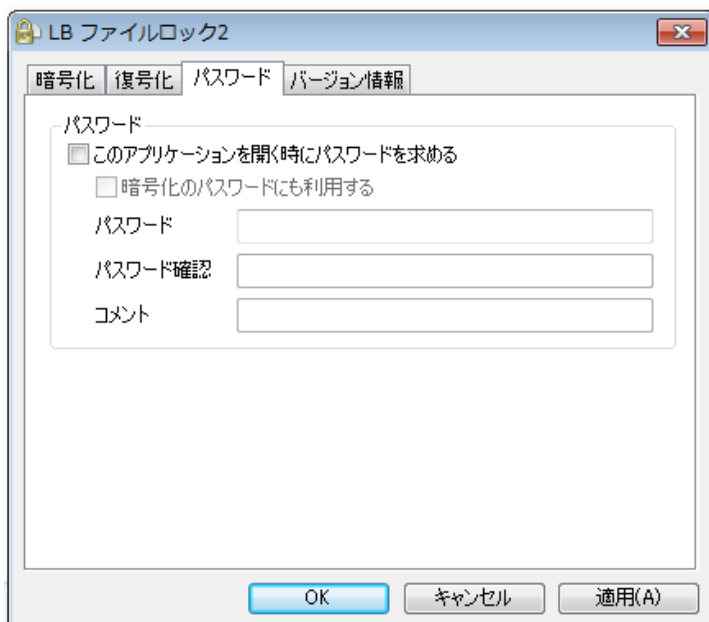
画面の説明

出力先	
指定したフォルダー	「参照」をクリックして復号化するファイル／フォルダーの出力先を選択します (初期設定は「デスクトップ」です)。
元ファイルと同じフォルダー	暗号化されたファイルが存在するフォルダーに復号化するファイル／フォルダーを出力します。
復号化時に指定する	ファイルをアプリケーションアイコンにドラッグ & ドロップした時に復号化するファイル／フォルダーの出力先を指定します。
アプリケーションと同じフォルダー	「LB ファイルロック2_v208.exe」が存在するフォルダーに復号化するファイル／フォルダーを出力します。

復号化時の処理	
フォルダーを自動作成する	復号化時にフォルダーを自動作成して復号化するファイル／フォルダーを格納します。
二重にフォルダーを作成しない	フォルダーを二重に作成しません。
上書きの確認を行う	復号化するファイル／フォルダーの出力先に既に同じ名前のファイル／フォルダーが存在する場合、上書きの確認メッセージを表示します。
更新日時が同じまたは新しい場合は確認しない	復号化するファイル／フォルダーの更新日時が同じまたは新しい場合は上書きの確認メッセージを出力せずそのまま上書きします。

<パスワード>

パスワードに関する設定をします。アプリケーションの起動時にパスワード入力を求めるように設定することができます。



画面の説明

パスワード	
このアプリケーションを開く時にパスワードを求める	起動時(設定変更時)にパスワードの入力が必要となります。
暗号化のパスワードにも利用する	暗号化のパスワードを予め指定します(暗号化時のパスワード入力画面が表示されなくなります)。
パスワード	使用するパスワードを入力します。パスワードは1～63文字までの英数字、記号、空白を含む半角文字(半角カナを除く)を指定することが可能です。
パスワード確認	パスワードを再入力して、設定したパスワードに間違いがないことを確認します。
コメント	パスワードのヒント等を入力します。